

パーソナリティ障害

～心の時代の福音～

2023/6/25

心の病(障害)

精神病
(障害)

人格
障害

発達
障害

後天的

先天的

後天的

先天的



2次障害・3次障害

人格障害

精神障害

発達障害

2次障害・3次障害

過去から抜け
出せない

人格障害

精神障害

うつ病

発達障害

アスペルガー

パーソナリティ(人格)障害

• パーソナリティ障害とは

- 社会生活に障害を来すほどの性格の偏り
- 青年期に始まり, その人格が安定している
- 本人の自覚がなければ治療は困難

• 原因

- 遺伝的要因もある(タイプによる)
- 主には両親(特に母親)との安定的な関係を築けなかったこと
- いじめなど重篤なトラウマを伴う経験
- 他の障害の2次、3次障害

パーソナリティ障害の種類

- Aグループ(奇妙または風変わりな様子)
 - 妄想性 : 不信と猜疑心
 - シゾイド : 他者に対する無関心
 - 統合失調型 : 奇妙または風変わりな思考と行動
- Bグループ(演技的、感情的、移り気な様子)
 - 反社会性 : サイコパス
 - 境界性 : 見捨てられ不安、感情や衝動的行動をコントロールすることの問題
 - 演技性 : 人の注意を引きたい欲求と劇的な行動
 - 自己愛性 : もろい自尊心、賞賛される必要性、および自分の価値についての過大評価

パーソナリティ障害の種類

- Cグループ(不安や恐れを抱いている様子)
 - 回避性 : 拒絶される恐れによる対人接触の回避
 - 依存性 : 服従と依存(世話をしてもらう必要性による)
 - 強迫性 : 完全主義、柔軟性のなさ、頑固さ

妄想性人格障害

• 症状

- 他者が自分を搾取したり、欺いたり、害を与えたりしようとして計画しているのではないかと疑っている
- いかなるときでも、理由もなく自分が攻撃されるかもしれないと感じている。**証拠がほとんどないかまったくない場合でも、自分の疑念や考えを主張し続ける**（陰謀説に固執したりする）

• 特徴

- 統合失調症と区別がつきにくい
- 家族内で受け継がれることもある

妄想性人格障害の実例

- 上司(50代・男性)と部下(30代・女性)
 - 同じ部署で10年以上仕事をする
 - プライベートでも上司夫婦と食事に行くなど、仲良しだった(上司夫婦は親代わりのよう)
 - 部下にはうつ病による通院歴あり
- 部下がパワハラで上司を訴える
 - コロナでリモートワークが増えた頃、会社のハラスメント委員会から上司に報告があり驚く
 - パワハラ的事实はなく部下が退職＞その後も法律事務所などに相談したらしい
 - 上司が他の部下に結婚相手を紹介したことが原因か？

反社会性人格障害

• 症状

- 自分や他者がどうなるかを考えることなく、また良心の呵責や罪悪感を感じることなく、自分の望むことを追い求める(サイコパス)
- 自分のやったことに対して自責の念や罪悪感を抱かない > 世の中を責める

• 特徴

- ADHDの2次障害として発症することもある
- 衝動的に行動し、無責任である
- 寿命が短い

境界性人格障害

• 症状

- 見捨てられ不安・理想化とこき下ろしとの両極端な人間関係・不安定な自己像・自分を傷つける可能性のある衝動的な行動(浪費, 性行為, 無茶食いなど)・自殺行動・感情不安定・慢性的な空虚感・不適切で激しい怒り

• 特徴

- 「ボーダーライン・パーソナリティ」とも呼ぶ
- “モンスター・ペアレンツ”に多い
- 歪んだ親子関係による連鎖

モンスターペアレンツの実例

• 高校1年生の娘の母親

- 娘が学校に行けなくなった時、友だちからのイジメが原因だと聞かされた
- 実はイジメグループのリーダーだったのだが、他の子が次々にグループを抜けたので孤立した
- 母親は電話で毎日2時間担任を非難した＞担任は1ヶ月で10キロやせた(黙って聴くよう当時のSCに指導されていた)

• 学校側の「一枚岩」で対応することで改善

- 電話対応は教頭が行い15分以内にする
- グループの子が誘いに行くことで登校再開

自己愛性人格障害

• 症状

- 自己の重要性に関する誇大な感覚・限りない成功, 権力, 才気にとらわれる・自分が“特別”であり, 地位の高い人たちにしか理解されない・過剰な賞賛を求める・特権意識・対人関係で相手を不当に利用する・共感の欠如・嫉妬・尊大で傲慢な態度

• 特徴

- 常に他者の評価を気にしている
- “クラッシャー”と呼ばれる上司になる
- 強迫性障害を併発することもある

強迫性人格障害

• 症状

- 物事をコントロールしている状態におき、自分なりの完全主義を追求する方法で物事を進める
- 細部、規則、スケジュール、秩序、およびリストに対するとらわれ、また仕事の完成を妨げてでもある物事を完全に行うことの重視

• 特徴

- 柔軟性の欠如
- 物を捨てられない人も(ゴミ屋敷)
- お金を使えない人も

パーソナリティ障害の治療

- **ほとんどの場合自覚がない**ので治療構造に乗らない
 - 困っているのは本人ではなく周囲の人々
- **治療を希望する場合は「認知行動療法」**
 - 症状によっては投薬治療も有効（抗精神病薬・抗うつ薬・抗不安薬など）
- **周囲の人のサポート**
 - 注意や批判は症状を強めてしまうこともある
 - 歪んだ関係性を原因としている場合も多いので、安定した人間関係を提供する

私は大丈夫だろうか？

• 自覚するためのヒント

- 感情：見捨てられ不安・強い怒り・とらわれ
- 自己概念：特別意識・客観性のなさ
- 対人関係：限られる・長続きしない・支配的

• なかなか自分のことは分からない

- 「信仰を持って生きているかどうか **自分を反省し、自分を吟味しなさい**。あなたがたは自分自身のことが分からないのですか。イエス・キリストがあなたがたの内におられることが。」(コリント二13:5)

イエス・キリストに支配していただく

わたしは、自分の内には、つまりわたしの肉には、善が住んでいないことを知っています。善をなそうという意志はありますが、それを実行できないからです。… わたしはなんと惨めな人間なのでしょう。死に定められたこの体から、だれがわたしを救ってくれるのでしょうか。わたしたちの主イエス・キリストを通して神に感謝いたします。 <ローマ7章18~25>